

雷の子

カトリック町田教会
町田市中町3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



恵みあふれる聖マリア、主はあなたとともにおられます。主はあなたを選び、祝福し、あなたの子イエスも祝福されました。神の母聖マリア、罪深いわたしたちのために、今も、死を迎える時も祈ってください。アーメン（天使祝詞）

ミサについて（その5）

主任司祭 高木賢一

久しぶりに、今回はミサについて述べてみたいと思います。特に、奉納と聖体拝領を中心に述べていきたいと思えます。

まず、ミサに参加する信者は、聖堂入り口で必要な印刷物をとった後で、奉納するために用意されている小さなパンを、自分のために奉納用の器に入れるかと思えます。因みに、教会の伝統的な言

葉であるラテン語では、「パン」を「ホスチア」と言い、奉納用の器を「チポリウム」と言います。

また、奉納するために、皆さんが自分のために取り分けてチポリウム（奉納用の器）に入れるホスチア（パン）を、時々、「ご聖体」と呼んでいる声を耳にする時がありますが、決して相応しい表現ではないので、ご注意ください。

気持ちを含めて、丁寧に、そのように呼ぶのかもよしれません。その気持ちはよく分かりますが、ミサの頂点であるイエズスが行った「最後の晩餐」の記念が始まり、司祭が聖霊の働きを通して、「キリストの『からだ』である」と宣言するまで、教会は決して「聖体」という言葉を使わないのです。

奉納するために用意されているホスチア（パン）を、ミサに参加するキリスト信者一人ひとりがチポリウム（奉納用の器）に入れるのは、自分の受ける分は自分で用意するようにという、いわば変な個人主義に基づくのではなく、イエズスの生涯に、それこそ自分の歩みを重ね合わせることに、即ち、イエズスを通して父である神に自分を捧げること、そして自らを委ね尽くすことを目的として行う、別な言い方を用いれば、全面的な帰依を表すことを目的として行っていると言つてよいでしょう。

そういつた意味を踏まえますと、ミサに参加するキリスト信者一人ひとりがホスチア（パン）をチポリウム（容器）に入れるという行いは、まさに、信仰告白に基づく振る舞いと言つても決して過言ではないのです。

だからと言つて、こういった理解を、いわば「金科玉条」のごとくに使うつもりはありませんが、それでも、極力、ミサに参加するキリスト信者一人ひとりが、自分でホスチア（パン）を心を込めてチポリウム（容器）に入れることが望ましいと思うのです。

ところで、食べることは生きることであるという理解が、今以上に深く実感できた時代、ともに同じ食事をするということは、同じ命の内に生きることであり、これまで培ってきた絆の固さを確かめ合うことでもあったので、神の前で、同じ仲間と、ともに食事をするだけでは、ともに食事をした仲間だけでなく、さらには、神との深い交わりの内にあることを意味し改めて思い起こすことを意味したと言えます。

ですから、聖体を拝領することは、奉納の意味と同じく、イエズスの命を生きようとする私たちが、キリストを通して、父である神との深い交わりの内にあることを思い起こ

させる信仰告白の場であると言えるのです。

以上の内容からも分かつて頂けますように、ミサの参加者の中で、キリスト信者以外聖体を受けることが出来ないのは、公の場でイエズスの生き方に倣うという宣言・信仰告白を行っていない、即ち洗礼を受けていないから能わないう理由に因るのです。

また、もう一方で、毎週の主日のミサで、キリスト信者はこういつた奉納や拝領という行いを通して、自らの道標であるイエズスの歩みに倣おうとして、洗礼を受けるに至った時の思いを、あるいは、父である神との日頃の関わりや在り方を、改めて見つめ直すように求められているということにもなるのではないのでしょうか。

ミサの中で、何気なく行われているように思える様々な所作が、どのような意味を持っているのかと問いかけながら、ミサを改めて見つめ直してみることは、ミサに参加する意識や姿勢を変えることになつたり、ミサをさらに深く理解する切っ掛けを作り出すので、大変有意義な眼差しであると思うのです。



運営委員会 素敵な十七人

運営委員会委員 大久保 珠美

はじめに、運営委員会の久保田議長より皆さまへ、日頃のご協力に感謝していただきますとの伝言がありました。特に、復活祭実行委員の方々、納涼祭における活動グループ、十月末のバザーに向け準備中の地域プロツクの方々へ。

さて、私こと、運営委員となった時、なすべきことが他に幾つもあり、そのどれをも大過なくやりおおせるのか、自信がありませんでした。

これはもう、紳士で、力持ちで、思慮深いイエズスさまに頼るしかないと思い決め、すべてを背負って黙々と歩むイエズスさまの傍らについてここまで来ました。

運営委員会の日は、その会議のひとときを喜び楽しむ。

それは、特定の人と親しくなって、面白可笑しく過ごすということではなく、他の事柄がとりあえず無事で、今、私はこの会議に出席できていると感じる喜びでした。

十七人でテーブルを囲みますと、様々な意見の違い、それぞれに与えられたタレントに、息をのみます。

それでも一つ一つを決定しゆこうと歩み寄ります。



時間にゆとりのない人でも雄弁家でなくとも、誰でもが参加できる委員会。

将来、何百人の信徒が、運営委員を経験した珍しい教会となつてゆけたら……。

教会のために頑張っているのに、感謝されるどころか、批判ばかりされると嘆く方もいらつしやいます。

教会のため、人のためではなく、ただイエズスさまのためにだけ行つと、人々からの賞賛も非難も意に介さなくなると、いつか聞いた言葉を思い出しました。

生きるも 主のため 死するも 主のため 恐れは 失せ去り 心は やすけし

そんな心境に到達したいものです。 終わりに、こんな文章では運営委員会がどんなものか判らん、と言つ向きには、是非とも運営委員を体験なさることをお勧めいたします。

イエズスさまのお言葉 来て！ 見なさい！

財務報告

財務委員 奥村耕平

平素は財務面で色々ご協力頂きまして誠に有難うございます。〇九年の財務状況の概要をご報告いたします。

結論は、教会の建設借入金を〇八年に全て返済できましたので、〇九年の財務状況は『健全』であります。借入金をご努力の積み重ねのおかげであり、心より感謝申し上げます。

〇九年の収入予算は、総額で二千九百万円計上し、八月末時点で六五%の進捗で、ほぼ予定通りです。項目別にみると、収入の半分近くを占める『月定献金』が一千一百万円の予算に対して六〇%の進捗です。次に多い『建設蓄積・積立金』は八百万円の予算に対して六〇%です。『ミサ献金』は五百万円予算の七四%の進捗です。『月定献金』『建設・蓄積積立献金』は少し低調ですが、ミサ献金等でカバーして全体でほぼ予定通りとなっております。いつもミサで多くの献金を頂いております。

一方、支出予算は、総額で二千万円を計上し、五六%の進捗です。支出は、九%も抑えて頂いております。支出の

行楽ポット コーヒーサービス

新年会、復活祭、納涼祭、バザーでも好評！

紅茶用ポット、コーヒーポット、材料、カップ、ミルク、砂糖、スプーン、カラハ、セッティング

スイッチオンで2-3分後、約10杯分が落ちる！

ポットをセットし、空ポットをセット

本体に1500ccの水を入れる

コーヒーメーカー(サーバ)本体2台リース

挽いた豆から落とす本格ドリップコーヒー！

コーヒー豆を挽く

ドリップ

ペーパーフィルター

コーヒーメーカーのマニュアルに必ず準備後

10時30分から準備

最高→コーヒー豆 1袋半で約17本(水2200cc)

ポットは3本あるので、フル回転で60杯は落とせる！

会議などにはポットで出前も！

ポット1本で20杯1000円で済む

久保田さん(前代表)

池尾さん

中藤さん 前田さん

島田さん

高桑さん

田島さん

大木さん

大迫さん

片山さん

加藤さん

三上さん

菊地さん

渡辺さん

第3日曜日は2フロアのメンバーがお手伝い!!

メンバー募集中!

ほぼコーヒー、紅茶 50円

1杯50円で済みます!

紅茶、カラハ、スプーン、砂糖、セッティング

紅茶用ポット、材料、カップ、ミルク、砂糖、スプーン、カラハ、セッティング

コーヒーポット、材料、カップ、ミルク、砂糖、スプーン、カラハ、セッティング

多い項目は、『本部献金』予算の六百万円で、『事務運営費』は五百万円予算に対して五一%進捗で、『宣教司牧費』は三十九万円の予算に対して六七%の進捗です。『維持管理費』は二八六万円の予算に対して五三%の進捗です。

○九年予算で収入 支出 九百万円の繰越金を作ることを計画しております。その内訳として、八百万円は『営繕積立金』ですが、新しい町田教会も建てようとする十年を迎えようとしております。より長く快適に使うため、大規模な修理・修繕を進めることが計画されており、施設管理委員会の報告によると、総額二千七百万円の金額が見積られており、このために○九年は八百万円の積立てを予算化しました。

建設借入金返済が終わってほっとしているところで誠に恐縮ですが、今後とも少しずつでも、『建設・営繕積立金』へのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。新しく町田教会にいらっしやった方にもご理解頂きまして、『月定献金』『建設・積立金』へのご協力をお願い申し上げます。献金の方法は振込み等の方法もありですので、財務委員や受付係にお問い合わせ下さい。

夏期学校

リーダー 正源 朝美

七月三十一日から三日間御岳山荘にて、夏期学校を行いました。初日は教会からバスで御岳山のふもとへ移動し、少し霧がかかる中、登山をして山荘に到着しました。山荘で昼食をとった後は部屋割り、オリエンテーション、室内ゲーム大会を行い、夜は花火大会をして楽しみました。

二日目からは霧、雨に見舞われ、予定を少しずつ変更しなければなりません。この日はロックガーデンへハイキングの予定でしたが、霧がかかって危険だったため近場の神社、御岳ヒジターセンターへ見学にいきました。センターでは、御岳山に生息する動物や植物を見たり実際に触れたりして、子供たちも御



岳山の自然を体感できたと思います。午後には大分霧もはれ、広場でリーダー棒倒し、

ドッチボールなどをして、全員で楽しみました。夜はキャンプファイヤー。火を囲んで皆で歌って踊って盛り上がり

ました。心に残る一日でした。最終日の三日目は、朝から

雨が降っていました。山荘でミサを行い、三日間を振り返りました。雨のため、ロープ

ウェイでの下山となりました。無事に楽しい三日間を送ることができました。支えてく

ださった高木神父様、天本神父様、森さん、保護者の方々、サプリーダーの皆さんに感謝

いたします。

小四 古屋 愛美

夏期学校の一日目、町田からバスに乗り、みんなで、すばらしい夏期学校になりますようにとおいのりしました。

小四 青野 らん

キャンプで楽しかったのは花火です。色々な色が変わっておもしろかったです。夜寝るときもみんなとお話しながらよかったです。行きは山を登るのが大変でしたが、帰りはてんきが悪くてロープウェイに乘れて楽でした。また来年も行きたいです。

ワンポイント聖書



(173)

前島 誠

「あの者たち(ペトロと他の使徒たち)から手を引きなさい。ほつっておくがよい。あの計画や行動が人間から出たものならば、自滅するだろう。神から出たものであれば、彼らを滅ぼすことはできない。もしかしたら、諸君は神に逆らう者となるかもしれないのだ。」一同は彼の意見に従い、使徒たちを呼び入れて鞭で打ち、イエスの名によって語ることを禁じたうえ、釈放した。

使徒言行録5章38-40

大祭司と仲間のサドカイ派議員たちは、使徒たちを捕らえて殺そうと計ります。

ところがパリサイ派の指導者で、民衆から尊敬されていたラバン・ガマリエルが、

立ち上がって議員たち全員に呼びかけた、それがここに引用したせりふでした。ガマリエルはヒレルの孫で、パリサイ派の中でも平民層を代表する人物。彼がもしこの場になかったら、ペトロとほかの使徒たちは殺され、初代教会の歴史は変わったものになっていたことでしょう。

彼は未亡人の再婚条件として、前夫の死亡確認を一人の証言で十分としました。生涯弱い立場の人の味方だったのです。

「ガマリエルの死と共に、律法の栄光は衰え、純潔と気高さが消えた」 ミシユナ

「婦人篇」はそう語ります(9章15)。後に、サドカイ派は神殿と共に消滅し、パリサイ派がユダヤ教を守ったのです。



納涼祭 (8月15日)

2009年教会バザー “つながろう”

- 日時: 10月25日(日)
第2ミサ(10:30)後~14時
- 場所: カトリック町田教会

今年のスローガンは、“つながろう”です。
各地域ブロックが主体となって催し、それぞれの地域での横の“つながり”を深め、強めると共に、また教会を中心として、地域社会との“つながり”も広める場として行われます。

なお、所属地域を越えた“つながり”も大切に考えており、個人での参加も大歓迎です。

皆さんの積極的なご参加、ご協力で楽しいバザーにしていきたいと思います。

それから歌をうたったり、おやつを食べたり友達と話したりしました。御岳山では、木につけられた番号が700から0になるまでのぼりました。リュックがおもたくて大変でした。御岳山荘に着いてお弁当をたべました。そのあと、大広間でジェスチャーゲームや物あてゲームをしました。つぎに、はんの名前をきめ、わたしたちのはんはピースときめて、ポスターにかきました。お風呂に入って夕食をして花火をして楽しかったです。

あるところにいきました。見たことがなかったのでもしるかったです。それから御岳山荘にもどり、二人三きやくやリーダーぼうたおし、ドッチボールなどをしました。夜はキャンプファイヤーです。いろいろなおどりや歌を歌ってすこく楽しかったです。

三日目は、七時に起きて、ごミサをし、ぶじにかえれましたようにといのりしました。かえりの準備のあと、おにぎりをたべて、山荘の人にお別れをして、かえりました。教会に着いて、聖堂で、ぶじに帰ったことを感謝していのりしました。神父様、リーダーの

たがたとお友達、ありがとうございました。夏期学校に今年も行って良かったです。

堅信式 9月13日



幸田司教の司式により14名の方が受堅

犠牲献金 中高生会

7月15日	7,952円
(ペロニカ苑へ)	
8月16日	8,626円
(ペロニカ苑へ)	
9月6日	12,472円
(ペロニカ苑へ)	

「雷の子」次号編集会議予定
11月15日(日)09時30分
於会議室
編集スタッフ募集
「雷の子」の編集スタッフを募集しています。性別、年齢、経験の有無を問いません。教会の広報および機関紙編集に興味のある方、右に記した編集会議にご参加ください。

信者動静

2009年6月~8月

(個人情報のため、削除しています)